



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 西 美紀

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1302 回	54 名	54 名	39 名	—	72.22%
前々回 1300 回	53 名	53 名	32 名	3 名	66.38%

●点 鐘

●ロータリーソング

奉仕の理想

●高山中央ロータリークラブ倫理基準

●ビジター・ゲストの紹介

●会長の時間

会長 中田 学

こんにちは！会長の時間です。

昨日の日曜日は、可児ロータリーの担当、美濃太田での、IM、多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。用語解説をしますが、IMとは、インター・シティ・ミーティングの略で、都市の連合会のことだそうです。都市間の多くのロータリアンが一堂に会し、ロータリー情報を学び、親睦も図る会合。日本では、1つあるいは複数のグループ単位で開催されることが多い。2630地区は、濃飛グループで開催していて、取りまとめ役は、濃飛グループのガバナー補佐ということになります。

本年度は、「さんまのほんまでっかTV」で有名な武田邦彦先生のご講演と大昼食懇親会がリアルでガッツリと開催され、たっぷり懇親を深めることができました。止まっていた時間が動きだし、うれしかったです。講演テーマは「ロータリーとSDGS」だったのですが、武田先生は、SDGSは元々昔から日本では、やっけてきていることだから、今から特に取り組む必要はないとか、そういう日本のすばらしさを子供たちに伝えたい今の教育には問題があるのではないかと、たいへん面白おかしく、楽しくお話をされましたが、「情報」というものには、常に何らかのバイアスがかかっているもので、絶えずいろんな角度から検証して、事実は何かを自分で考えて、見つけていく姿勢が大切だと言われていたように思います。



武田先生は、名古屋のライオンズクラブに所属されているようで、ロータリーに近い部分もあるのかなとは思いましたが、先ほどお話したように、IMは、あくまでもロータリー情報を学ぶ場であるので、強いて言うならば、ロータリーと離れた知名度のある講師による講演というよりは、ロータリーの目的に沿った、それに見合う内容が望ましいと思いました。

今週末は岐阜市で地区大会です。大きなイベントが続きますが、よろしくお祈りします。そして、今月は、米山記念奨学会月間ということで、本日の例会は、清水委員長のご担当です。委員長、そして、ギ・ランテンさんから卓話をいただきますので、よろしくお祈りします。

最後になりますが、高山市内、コロナの感染が、だいぶ落ち着きましたが、まだまだ、くすぶってはいます。寒くなるにつれて、インフルエンザと同時に感染が広がるような話になってきています。基本ルールに加えて、食生活を整えて自己免疫を高めるなどして、これまで通り、注意を払っていただければと思っておりますので、よろしくお祈りします。

●幹事報告

幹事 二木 公太郎

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所

・2024-25 年度ガバナーノミニー決定宣言

亀井喜久雄君(名張 RC)

・「4つのテスト」アンケート集計

・9月クラブ増強報告書

・四日市 吉浜海岸清掃のご案内

日時：11月6日(日)7:30～10:30

・地区大会における表彰について



◎国際ロータリー第 2630 地区直前ガバナーより

- ・2021-22 年度地区記録誌

○濃飛グループガバナー補佐より

- ・ガバナー杯チャリティーゴルフ大会
濃飛グループ予選会のお知らせ
日時：11月26日(土)8:10 スタート
会場：愛岐カントリークラブ

各クラブ 1~2 組

○ロータリー米山記念奨学会より

- ・豆辞典/委員長の手引き/寄付マニュアル/2021 年度事業報告 2021 年度決算報告/記念グッズ申し込みチラシ
- ・ハイライトよねやま 271

○高山ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ
11月3日(木) 休会 法定休日
11月24日(木) 休会 定款により

○高山西ロータリークラブより

- ・例会変更のお知らせ
11月4日(金) 休会 定款により
11月25日(金) 休会 定款により

<高山市青少年育成市民会議より>

- ・「子どもの日・若者育成支援強調月間」街頭啓発活動の出役のお願い

<まちづくりスポットより>

- ・フードバンク支援のお願い
日時：10月21日(金) 10:00~12:00
場所：まちスポ飛騨高山

<入会セレモニー>

新会員 井辺 義直
生年月日 1980年5月25日生
会社 (株)ホテル高山生宝閣
役職 代表取締役
職業 旅館業



●米山記念奨学委員会

委員長

清水 幸平

10月は米山月間です。本日の例会は、米山記念奨学金について話をし、また会員の皆様にご寄付をお願いさせていただきます。その後、米山奨学生の魏藍天さんに卓話をさせていただきます。ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てています。ロータリー米山記念奨学金の特徴は、交流を重視していることと奨学事業の規模の大きさです。奨学生に地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役をつとめます。奨学生は毎月一回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。奨学期間終了後国際ロータリーのコミュニティに参加することができます。また、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。寄付金には、普通寄付金と特別寄付金があります。普通寄付金は、安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入されています。特別寄付金は、個人・法人等から任意に寄付をし、金額に決まりはありません。特別寄付金は、次回の例会から受け付けさせていただきます。本年度も会員の皆様のご寄付をお願いいたします。



●米山記念奨学生 魏 藍天 様

皆様、こんにちは、お久しぶりです。米山記念奨学生の魏 藍天と申します。今年4月に高山中央 RC に配属されてからほぼ半年に至って、毎月この定例会に来る時いつも皆様から優しくして頂き本当にありがとうございました。では本日もよろしくお願いたします。



「自己紹介」

(まずは改めて簡単に自己紹介をさせていただきます。) 私は中国の湖北(こほく)省出身です。湖北省は洞庭湖(どうていこ)という中国で2番目に大きい淡水湖の北側にあるので湖北と名付けられました。私の故郷の恩施市は湖北省の一番西にあります。生まれてから高校卒業前までずっと

と父と母と一緒に家族 3 人で地元の恩施市で過ごしました。恩施地方は山の奥にあるので、古くから交通が不便で、外からの情報が遮断されます。小さい頃から大都市の生活に憧れていました。そして高校卒業後、中国東北地方の大連市にある大学に進学しました。大連市は私の実家からとても遠い都市です。でも日本との距離はすごく近くて、そこは日系企業が多く、日本語を学ぶ人も多いです。私も大学で興味があり日本語を学びました。そして留学を通じて海外の世界を見てみたいと思って日本に来ました。2017 年 10 月最初は研究生として岐阜大学に入って、翌年 4 月修士課程に入学し、そして 2020 年に博士課程に進学しました。現在は岐阜大学大学院工学研究科博士の 3 年生です。来日して 6 年目です、学業としては最後の年です。今は岐阜大学で出会った妻と一緒に岐阜市に住んでいます。日本に来られて、日本の方だけではなくいろんな国の人と出会って新たな文化や価値観に触れることができ、自らの視野と考え方を広げることができました。日本に来て良かったと深く感じられました。

「米山記念奨学生になるまで」

去年のこの時期はちょうど米山記念奨学金の申請の時期でした。正式な申し込みの前にまずは大学内の選考があります。選考を通った人が正式な書類を揃って提出します、そして一月にロータリー米山記念奨学会での面接があります。当時自分が推薦枠に入ったことが分かった時本当に物凄く嬉しかったのですが、この嬉しい気分に伴ったのはすごく不安な気持ちでした。自分の日本語は面接で本当に使えるのか、もし合格できたら日本語の卓話は大丈夫ですか、ととても心配しました。そのような日本語に関する不安の気持ち、未来への不安の気持ちは私が日本に来る留学の願望を叶えるために努力しないと思いました。日本語能力試験という日本語のテストがあります。日本に来る留学生の評価として非常に重要なテストの一つです。この日本語能力試験は N5 から N1 までの 5 段階の評価があります。一般的には日本に来る留学生最低 N2 レベルの日本語が望まれていますこのテストは年に 2 回しか行わないです。私が学部卒業までの二年間に全部で 4 回の N2 レベルのテストを受けましたが、最初の 3 回は全部落ちました、最後の 4 回目ですと合格しました。そういう日本語がギリギリできる状況で、日本に来る前に、自分の日本語を通じて本当にコミュニケーションができるのか、学業がうまく進めるのか、日本語が下手過ぎて先生は怒られませんか、ととても心配しました。この不安を抱えつつ日本に来ました。幸いなのは、日本に来て先生と研究室のメンバー達は優しくかったです。また自分も他のメンバーに話しかけて、日本語を練習しつつみんなと仲良くしました。

その後 N1 レベルの日本語能力試験を一発で合格しました。それが日本に来る前の私には絶対想像できないくらい伸びました。留学のことみたいに自分の現状を変える、または自分が経験したことない事への、最初の一步を踏み出すのは難しいですが、怖がりますが、未来はどう変わるかも分かりませんが、唯一必ず分かっているのは自分がこの間で絶対成長します。この経験は常に自分が困難に直面する勇気を与えます。

「米山記念奨学生になってから」

(次は米山記念奨学金について話させて頂きたいと思います)

米山記念奨学金とほかの奨学金と比べると一番独特なことは、世話クラブとカウンセラー制度だと思います。このような制度があったため、私たち奨学生が経済的な支援をだけを頂くのではなく、ロータリアンと交流ができて、国際交流と相互理解を深めるとともに、ロータリークラブの奉仕の理念と方法を学べます。米山記念奨学生の面接で、もし世話クラブが高山にある RC にしたら、毎月の例会の出席ができますかと聞かれました。日本にきて初めての年越しが高山市でしました。私の故郷も山の中にありますので、とても親近感を感じたと思って、もちろんできますと答えました。そして初めて高山中央 RC が私の世話クラブになったと聞いたときやっとなんと、とても嬉しかったです。例会に出席する日にバスのスケジュールの関係で、私いつも 9 時半ごろ高山市役所に着きます。カウンセラーの清水さんは毎回必ず迎えてきます。この時間はよく一緒に一階のカフェでコーヒーを飲みながら会話をします。内容はお互いの近況から国際情勢まで広がり、または身近なボランティア活動から国際支援の経験についてまでの話をします。この時間を利用して清水さんの会社への見学もさせて頂きました。このようなこと私にとって、とても貴重な経験だと思います。とても勉強になりました。

「変わった事(学業上)」(次は米山記念奨学生になってから変わった事について話したいと思います)

日本に来て、自分が主に大学内のチーティングアシスタントと研究補助員のアルバイトをしています。また年末年始は家近くのお花の工場でのアルバイトもしていたことがあります。でも日本の物価が高いので、両親からの仕送りも受けています。この度米山記念奨学生に選ばれて頂き、奨学金のおかげでバイトの時間を減らして、研究に専念することができました。この間で新しい成果をできて学会で発表しました。国際論文誌への投稿も今進んでいます。今年は博士課程最後の一年なので、最近では博士論文を書いています。修了への準備をしています。皆様のご寄付のお蔭でこの米山記念奨学金の事業ができて私みたいな奨学生達が経済

面での心配をなくして学業に専念することができて心から感謝申し上げます。

「変わった事(学業以外に)」

学業以外に自分も成長していたと感じました、奨学生になってから、毎月の定例会と奨学生研修会を通じて、ロータリークラブのことを学んで、社会奉仕への意識、または社会奉仕を通じていろんな地元住民と交流への意識を高まってきました。「学ぶことよりまずは奉仕しよう」と思って、先月から大垣市内のボランティア活動に参加しました。留学の話と同じ、最初の一步は難しいですが、でも始めてからどんどん次と行っちゃいます。今後はこのボランティアの活動を続けて、社会奉仕と、地元住民との交流にもっと力を入りたい、もっと活躍したいと思っております。

「今後自分の理想」

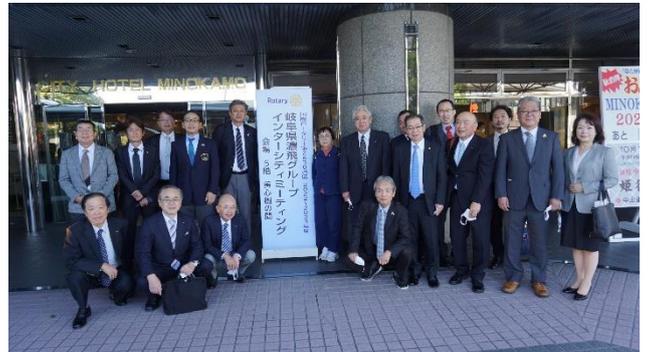
奨学生の研修会で「恩返しではなく、恩送りの気持ちを持ってください」という言葉を勉強させて頂きました。あれから自分がロータリークラブから頂いた恩を、ボランティアなどの奉仕活動を通じてより多くの人に広げたい、ロータリーの奉仕の理念をより多くの人に伝えたいと常に考えております。職業奉仕を実践しているロータリアンたちを心から尊敬しております。将来自分も職業を通じて社会に貢献できる人になりたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。ご清聴ありがとうございました。

【2022-2023 年度 国際ロータリー第 2630 地区 濃飛グループ IM】

日時：2022年10月16日(日)

会場：シティホテル美濃加茂

ホストクラブ：可児 RC



講師：武田 邦彦 氏

講演テーマ：「ロータリーと SDGs」

<ニコニコ BOX>

誕生日のお祝いを頂きありがとうございました。また、昨日の IM 参加、お疲れ様でした。こぼれそうな良い物を見て少し寿命が延びました。 住 裕治

本日は息子の誕生日で 19 歳になりました。中高と東京の学校に通っていましたが今春から就職して無事努めています。親としてホッとしています。 葛谷 嘉久

先日は結婚記念のお祝いを頂き、妻に渡したところ、完全に忘れていました。記憶を呼び起こして頂きありがとうございました。本日途中で退席します。 中屋 出

昨日集合場所に現れず大変失礼しました。以後気を付けます。さて、10/24 は「出前講座」です。お手数をお掛けしますが、配布資料を参考にご準備頂ければ幸いです。よろしくお願致します。 益田 大輔